

れんごう

県央地協

2017. 1. 19
 2017年度 第2号 通算 215号
連合県央地域協議会 (連合県央地協)
 〒955-0044 三条市南四日町 1-15-8
 三条市勤労青少年ホーム(ソレイユ)内
 TEL 0256-32-6363 FAX 0256-32-6490
 e-mail : rengousk@fancy.ocn.ne.jp
 URL : http://rengo-kenoh.net/

県央地区労福協


2017年新春賀詞交歓会



1月12日、三条市のジオ・ワールドビップにおいて、県央地区労働者福祉協議会（労福協：連合・労働金庫・総合生協などで構成）主催の新春賀詞交歓会が開催され、日頃連携をとっている各級推薦議員、自治体、労働組合などから、およそ160名の参加がありました。

主催者を代表し宮口会長（地協議長、写真

左下）は、新年のあいさつ、労福協・ライフサポートセンターの取り組みと相談事業の紹介をした後、現在、労福協と連合が連携して行っている貸与型から給付型、有利子から無利子への奨学金制度創設の取り組みについて触れ、参加者へも協力を呼びかけました。

 **本年も県央地区労福協・連合県央地協を
 よろしく願っています**



来賓あいさつではまず、県労福協の齋藤理事長（連合新潟会長）が、労福協の取り組み、地域住民へのサポート事業について述べたあと、連合の立場として活動への参加依頼と課題についても話さ

れました。菊田代議員（4区選出）、鷺尾代議員（2区選出）は遅くとも来年には行われる衆議院選挙の支援依頼、森参議院議員は昨年の参議院選挙の支援への御礼を含めたあいさつを順次され、鏡開き後、小野塚総合生協理事長の乾杯の音頭で宴はスタート。

恒例のお楽しみ抽選会は、遠藤青年女性委員長の司会進行で青年女性四役が担当し、次第の色で当選が決まるラッキー賞など大いに盛り上がりました。その後も会場では単組の垣根を越えた活発な交流をする姿があらちちらで見られましたが、楽しい時間もあっという間に過ぎ、最後に猪股労働金庫理事（地協幹事）の音頭で中締めを行い閉会となりました。

県央地区労福協 ライフプランセミナー
 と き 3月1日（水）18:30～
 と ころ 三条市勤労青少年ホーム
 （ソレイユ三条）3階
 内 容 認知症の基礎知識と予防のヒント
 講 師 堀口直子さん
 （一般社団法人 日本音楽レ・クリエーション指導協会理事長）

貸与型から給付型、有利子から無利子へ 奨学金制度の創設にむけた取り組み実施中

社会問題化し、政府では2018年度よりまず所得の少ない家庭から大学などへ進学する若者を対象に給付型奨学金制度を導入することが決定していますが、県労福協、連合新潟では制度の導入を確実なものとするため、現在、その創設にむけた取り組みを行っています。

県央地協でも連合新潟の呼びかけで労福協と連携した様々な取り組みを実施中です。終了した行動を含め紹介しますので、各構成組織・単組からもご協力をよろしく願っています。

街頭行動 1月12日、イオン県央店交差点 参加者：地協四役・事務局、高倉・藤田県議

時折、雪が降りしきる中、「大学を卒業し、社会に出ても不安定な雇用で十分な収入が得られず、奨学金を『返したくても返せない』人も増加し



ている」「給付型の奨学金制度がないのは日本だけだ。学費を含めた教育費負担の軽減を」と市民にアピールし、取り組みへの協力を呼びかけました。地協推薦県議のお二人からは、議員の立場としての早急な制度導入についてはもとより、そのほか地域発展にかかわる内容で訴えられました。裏面へつづく

連合県央地協2017春季生活闘争にかかわる取り組み

- ・全国一斉 相談ダイヤルの開設 2月 9日（木）～11（土）
 - ・単組代表者会議 2月27日（月）18:15～
 - ・県央地協 総決起集会 3月 8日（水）18:30～
 - ・連合新潟 中小・地場総決起集会（県央地域開催）
 4月 1日（土）14:00～
- 会場はいずれも「地場産センターリサーチコア7階」



アピールへの賛同依頼

労福協が国会議員、政党等への要請時に用いる「給付型奨学金制度の創設等を求めるアピール」への賛同を多数得るため、県央地協でも推薦の地方議員などへ依頼したほか、加茂市の新潟経営大学を訪問し、その依頼をはじめ実際に奨学金の利用をしている学生の声を上げていただくよう、チラシを置いていただけのこととなりました。また、大学へはこの件以外に学生に対する労基法等がコンパクトに記載されている連合作成の「知っ手帳」の配布と活用、出前講座(労働教育講演)の開講と講師依頼についてもお願いし、今後連携をとらせていただく足掛かりになればと考えています。

燕市・弥彦村・田上町へ 政策制度要請書を提出

12月9日に燕市と弥彦村、12月15日に田上町への2017年度予算編成にかかわる政策制度要請を実施しました。

燕市への要請は、地協側からは宮口議長、海津副議長(燕支部長)をはじめ



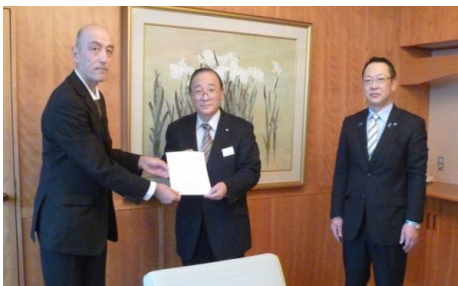
燕市(左側)との意見交換

8名と地協推薦の中島燕市議が鈴木市長を訪問し、各部長などからも対応いただきました。労働・雇用対策はもちろんのこと、男女平等政策、防災・安全行政など11分野61項目を要請し、労働・雇用の関係で鈴木市長は、「大学との連携の中でインターンシップの受け皿の仕組みを構築していきたい。学生にこの地域で色々な経験をし、学んでもらい、就職してもらるのが理想」と話されました。



小林弥彦村長に要請書を
手渡す海津副議長(燕支部
長、右)

同日の弥彦村へも、議長をはじめ地協から8名と地協推薦の板倉弥彦村議が出席し、村側からは小林村長をはじめ各課長などから対応いただき、10分野46項目を要請し意見交換。田上町へは、議長、中山副議長(加茂支部長)をはじめ4名と地協推薦の笹川田上町議が佐藤町長を訪ね、10分野48項目の要請書を提出しました。燕市同様、弥彦村、田上町でも主要項目を中心に丁寧に時間をかけ今後の対応等について見解を示していただき、実りある要請行動となりました。残る加茂市への要請もなるべく早い段階で行っていきます。



佐藤田上町長に要請書を
提出した中山副議長(加茂
支部長、左)

<2017年度 連合県央地協 主要活動予定>

1月	・ 賀詞交歓会 (労福協 12日)	7月	・ 第28回地協委員会
	・ 相談ダイヤル等周知街宣行動 (1/31~2/2)		・ 政策研修会
2月	・ 労働相談ダイヤル開設 (9~11日)	8月	・ 役員推薦委員会 (~11月)
	・ 単組代表者会議 (27日)		・ 平和集会
3月	・ ライフプランセミナー (労福協 1日)	9月	・ 政策委員会 (~11月)
	・ 春季生活闘争 総決起集会 (8日)		・ サマーパーティー (青年女性委員会)
	・ 労働・経営団体への申入れ行動	10月	・ 企業見学研修会
・ 連合新潟 春闘単組激励訪問行動	・ クリーンキャンペーン (青年女性委員会)		
4月	・ 連合新潟 春闘中小・地場総決起集会 (1日)	11月	・ 各地協との合同イベント (青年女性委員会)
	・ 役員研修会 (青年女性委員会)		・ 各自治体への政策制度要請 (~12月)
5月	・ 第88回メーデー (1日)	12月	・ 第27回定期総会
6月	・ スポーツ交流会 (青年女性委員会)		・ 青年女性委員会第25回総会
		・ 関係議員意見交換会	*四役会、幹事会は毎月定例開催

働くみんなの **ワークルール** Q&A vol.10 テーマ **労働災害・労災保険**

こんな相談が連合の労働相談に寄せられています。

Q 仕事中に怪我をしたのに「労災は認められない」と上司に言われた。自分で治療費を出すしかないの？



A 仕事中の怪我には労災保険が適用されるので、治療費を自分で負担する必要はありません。また、労働災害かどうかを決めるのは会社ではなく、労働基準監督署です。会社が労災だと認めなくても、自分で医師の診断書など必要書類を用意すれば、労働基準監督署に申請することができ、労災認定されれば各種給付が受けられます。なお、労災保険は、パート、アルバイト、契約社員、派遣社員などの雇用形態にかかわらず、すべての労働者が適用対象となります。

STOP!! 長時間労働 つぶやき募集 連合TOPへ

もしも **定時で帰れたら!?**

2016年12月8日(木)~2017年1月31日(火)

いまでも困りのことがありましたら、連合「なんでも労働相談ダイヤル」にご相談ください。

詳しくは連合のホームページ <https://www.jtuc-rengo.or.jp/> をご覧ください